



議会  
だより

# ふながた

No.148

23年/10



発行：山形県舟形町議会  
平成23年10月28日



最高の人出で賑わった若鮎まつり

7月・9月臨時会、9月定例会概要、質疑応答・・・ 2～4 P  
 決算審査特別委員会、監査意見書…………… 5 P  
 決算審査…………… 6～9 P  
 一般質問…………… 10～17 P  
 一般質問のゆくえ、議会活動…………… 18 P  
 町民の声、人事案件、請願・陳情・意見書…… 19 P  
 えがったなあ、編集後記…………… 20 P

第2回臨時会  
7月20日  
9月定例会  
8～15日  
第3回臨時会  
9月29日

# 平成22年度決算を認定

9月定例会は、8日から15日までの会期で開催され、8人の一般質問に続き、一般会計・特別会計の補正予算を、原案どおり可決しました。  
22年度決算については、特別委員会を設置し本会議において認定しました。

## 主な付議事件

### 第2回臨時会

- 一般会計補正予算
- ローター除雪車購入契約  
(株)KCMJ山形営業所落札

### 9月定例会

- 一般会計・特別会計補正予算

### 第3回臨時会

- 町道一の関若あゆ大平線法面防災対策工事請負契約の締結
- 舟形町情報公開審査委員の委嘱

## ○除雪車の購入

落札率 73%

契約金額

1,811万円

### 7月補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	2,300万円	380,820万円

### 9月補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	19,050万円	399,870万円
国民健康保険	520万円	68,620万円
介護保険	2,882万円	69,882万円
簡易水道	1,180万円	19,180万円
農業集落排水	△40万円	22,730万円
公共下水道	670万円	19,670万円

## 質 疑 応 答

### 定例会

**議員** 町道富田中通り線消雪施設整備事業における補正予算が減額になっているが、今後の工事はどうなるのか。

**地域整備課長** 22年度の繰越事業費のなかで、井戸掘削工事と散水工事の一部について施行し、残りの区間については来年度の事業になります。



井戸掘削工事現場

**議員** 教育寄附金は、どのような事業に使用されているのか。

**教育次長** 世田谷区、港区の小学校との児童交流学習事業費の一部として使用しています。

**議員** 総務一般管理費6,295万円の増額の理由は。

**総務課長** 3月当初予算成立後まちづくり課から総務課への人事異動があり予算調整のための増額です。

**議員** 社会福祉協議会をもっと充実させるべきではないか。

**健康福祉課長** 町包括支援センターに1名派遣していますが、緊急雇用対策事業で1名採用し2名体制維持で運営しています。

**議員** 放射線測定器の備品購入費3万4千円追加の内容は、また、貸出する計画は。

**健康福祉課長** 県から1/2の補助を頂いて測定器のアルミ収納ケースを購入するものです。  
測定器は県と同じ日立製で空気中の放射線を測定する機械です。  
貸出等は行わず、決められた担当職員が測定する予定です。



児童交流

**議員** 土地利用調整推進事業について、町民に情報提供してほしい。

**地域整備課長** できる限り情報提供を行いたいと思います。  
20ヘクタール以上は県営事業で、それ以下については町で行う事業がありますが、ソフト面で農地の集積にも対応しなければならぬと考えています。

議員 町道長沢2号線消雪工事に伴う下流域の地下水利用者への影響と対策はどうしているのか。

地域整備課長 原因が判明しないので調査を行いました。やっと調査結果が来ましたので速やかに地元関係者と話し合いを進めていきます。

議員 町道紫山内山線改良事業補正で増えた理由は、国道13号線からの進入箇所の拡幅工事は必要ないのか。

地域整備課長 用地購入費と物件移転補償費が増えたためです。13号線からの進入路は現在の幅員で大丈夫との国交省の見解です。また、町道から国道に出る箇所については、右折レーンが取れるくらいの幅員になる予定です。



町道改良予定地

議員 町道福寿野岡矢場線の改良はいつするのか。

地域整備課長 福寿野地区のほ場整備が済み次第、平成25年度を目指します。

### 特別会計

#### 国民健康保険

議員 国民健康保険特別会計の歳出で、当初予算より償還金が多いがこの内容は。

健康福祉課長 平成22年度概算で交付を受け、実績で精算し、国等に返還しています。内訳は、療養給付費国庫負担金230万円、出産一時金国庫補助金6万円、退職者医療交付金274万円です。

#### 公共下水道

議員 公共下水道会計予算の歳出で、修繕費の内容は。

地域整備課長 管渠管理事業では、駅前と西堀のマンホールの水中ポンプのオーバーホールと舟形浄化センター余剰汚泥ポンプのオイル漏れの修繕です。

議員 震災時において、公共下水、農業集落排水のポンプの電源確保の対策は。

地域整備課長 対策として、町の委託業者に発電機等の手配をお願いし対応したいと考えています。

### 臨時会

一の関若あゆみ大平線法面防災対策工事請負契約の締結

議員 何社で入札を行ったのか。

地域整備課長 入札は5社で行いました。

議員 入札の結果について、透明性を図る意味でも町民に周知してほしい。

町長 今までは、お知らせ版に四半期に一度まとめて出していますが、入札を行った時はすぐに町民にお知らせできるように取り組みます。

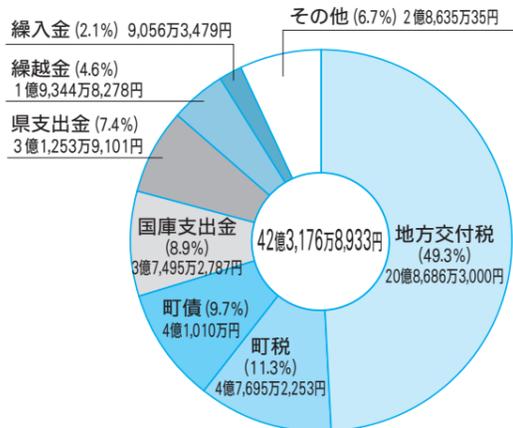


崩落現場

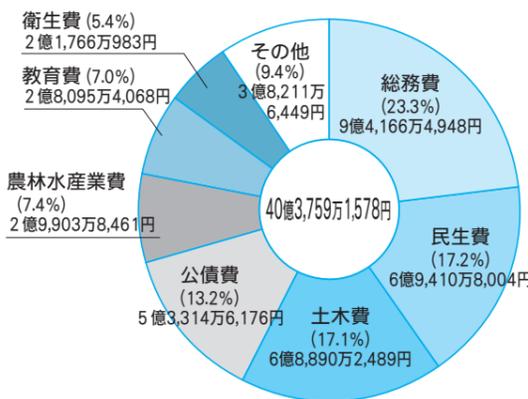
## 決算審査特別委員会

### 一般会計

歳入 (42億3,176万8,933円)



歳出 (40億3,759万1,578円)



歳入歳出差引額

1億9,417万7,355円

# 健全化に向け更なる努力を



野尻 益夫 委員長

平成22年度決算審査は、会期中の9月12日から15日まで決算審査特別委員会を設置し、委員長に野尻益夫総務振興常任委員長、副委員長に大場清之文教民生常任委員長を選任し、一般会計、7特別会計を慎重に審査し、満場一致で承認しました。

### 特別会計

(単位: 円)

Table with 3 columns: 会計別, 歳入額, 歳出額. Rows include 国民健康保険, 老人保健事業, 後期高齢者医療, 介護保険, 簡易水道事業, 農業集落排水事業, 公共下水道事業, and 合計.

### 監査意見書



林代表監査委員

決算関係書類を審査した結果、決算計数は適正であると認めます。また、財政健全化法に基づく判断比率の算定は適正にされており、各項目とも基準を下回り、財政は健全であると認めます。町税は、景気の停滞による個人所得の減少があるが、固定資産税等が若干増加している。歳入の多くを占める地方交付税は対前年比4.8%の増加となっている。財政指標は、経常収支比率、公債比率等で前年度より好転しているが、自主財源が少なく、依存財源が多数を占める本町にとって厳しい財政事情に変わりがありませぬ。また、町税及び使用料の収入未済額が多くなっているため、その解消にさらなる努力をされたい。少子高齢化が進み、人口減少により町の活性化が失われることがないように皆で知恵を出し合い、安全で安心な生活環境づくりに努力されたい。

# 決算審査特別委員会

## 質 答 応 疑

### 一般会計

#### 歳入

**議員** 農村環境改善センターのナイターの使用料は、

**まちづくり課長** 使用条例に基づいて使用料を頂いています。

**議員** 町税や使用料未済額の回収方法は、

**まちづくり課長** 昨年の7月まで徴収嘱託員に委託して対応しましたが、今後は預金や補助金の差し押さえなども検討します。

**地域整備課長** 督促状を送りそれでも回収できないときは個別訪問等を行い対応します。

#### 歳出

**議員** 長沢出張所・堀内出張所の各種証明書等の22年度の利用状況はどうなっているか。

**総務課長** 長沢出張所は印鑑証明書発行45件のほか、年間合計で114件です。堀内出張所は戸籍謄本50件、抄本関係32件のほか、年間合計で495件となっています。



堀内出張所

**議員** 放課後児童対策費補助金518万円と放課後子供プラン市町村事業費補助金273万円の内容は、

**健康福祉課長** 小学生を対象にそれぞれの小学校や児童館等での、放課後の活動指導に対して支援する県の補助金です。

**教育次長** 放課後子供プラン補助金の半分を県から頂いています。全ての子どもを対象に放課後や土日祝祭日に安全安心な活動拠点を、各小学校に設けて地域の方と共に活動しています。



地域の方ときのこ作り

**議員** 舟形町行財政推進会議提出の建議書にある、職員数について町民100人に1名の割合の人数にすべきとあるが、達成に向けての考えは、

**総務課長** 建議書については重く受け止めています。達成に向けて業務の見直し等を行います。

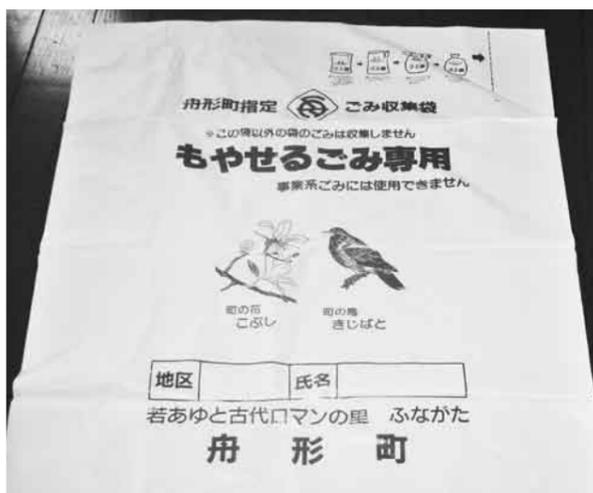
**議員** 役場本庁舎と第2庁舎の耐震診断は行ったのか、また基準に達していない場合は補強工事を行うのか。

**総務課長** 今回は本庁舎のみ行い、第2庁舎については行っていません。

**町長** 第2庁舎の耐震診断についても今後行うように進めます。さらに補強工事については多額の財源が必要になるので、財源確保をあらゆる角度から検討します。

**議員** 生涯学習センターは依然として合併浄化槽を利用しているが、集落排水を推進する町として今後の利用についてどう考えているのか。

**まちづくり課長** 生涯学習センターの浄化槽は、集落排水と同等の機能を有しています。今後は浄化槽の更新時期に集落排水に接続したいと考えています。



町指定のごみ袋

**議員** 舟形町専用ごみ袋の販売金額はいくらか、その処理はどうしているか。

**健康福祉課長** 販売金額は827万5千円で、全額を町では計上しています。販売委託先は商工会を通じて商店で販売しています。取扱数量に応じて町では手数料を支払っています。



耐震補強を指摘された役場地下

**議員** 合併浄化槽設置整備事業の実施地区と今後の整備事業の必要戸数は、

**地域整備課長** 紫山地区と総壇原地区の2戸です。今後は、73戸について順次整備して行きます。

**議員** 補正予算を計上しながら、決算で不用額が多すぎる。十分に精査をして予算を計上すべきではないか。

**副町長** 補正予算を計上する段階で充分精査し、不用額が出ないように対応します。



縄文のヴィーナス出土場所

**議員** 新たな観光産業として、縄文ヴィーナスのアーブル、標識、土偶の銅像などを置くべきではないか。

**まちづくり課長** 来年度で出土20周年になることから実行委員会を立ちあげ、記念イベントの準備を進めています。

モニタメント設置についても西堀地区、実行委員会、国、県と合わせて話し合いを進めています。



デントコーンの収穫作業

**議員** 畜産規模拡大支援事業補助金はどのような事業なのか。

**産業振興課長** 舟形町やまた地鶏振興協議会と福寿野飼料組合が行う施設整備・機械導入のための補助事業です。

**議員** 体験実習館はNPO法人が指定管理者になったが、今後の予算の持出しはどのようなのか。

**産業振興課長** 可能な限り利用料金で経営していただきたいと思っています。また、企業の持っている企画力や企業努力にも期待しています。



体験実習館

**議員** 若あゆ温泉事業基金積立の内容は。

**産業振興課長** 温泉の収益の一部を今後予想される温泉等の修繕に使用するために積立を行う基金です。

## 特別会計

### 簡易水道事業

**議員** 舟形町の石綿管は全て入れ替えが完了したのか。

**地域整備課長** 入れ替えは平成29年までの計画で、延長7,983mです。22年度までに1,279m施工済みで、23年度は900m施工予定です。進捗率は30%です。

**議員** 水道使用料の収入未済額と滞納繰越分未済額についての回収方法は。

**地域整備課長** 繰越滞納分については年間計画で毎月支払いの誓約書をいただいで対応しています。その他、督促状、電話、個別訪問を行い回収しています。

また、水道の給水を一時停止する場合があります。



第24回 鞍馬大会

**議員** 東北鞍馬競技大会が中止になった経緯は。

**産業振興課長** 馬主の高齢化や減少により出走する馬が少なくなったことや、中心的な役割をされていた方が亡くなられたこともあり、24回で中止になりました。



介護予防教室

## 介護保険

**議員** 介護予防特定高齢者施策事業の中で特定高齢者の把握事業委託費の内容は。

**健康福祉課長** 特定健診時に生活機能評価により把握した虚弱な高齢者を対象に光生園に委託し、運動器の機能向上のため介護予防教室を2回（3カ月コース）実施し、18名が参加しました。



加藤 憲彦 議員

# 3月11日、大震災のその後について 災害に強いまちづくりを



大津波による災害状況

**【質問】** 3月11日、マグニチュード9の地震が発生し、予想もしない大津波が東日本を襲いました。我が舟形町でも震度5強という強い揺れに驚きながらじっと揺れが治まるのを待ちました。早半年が経とうとしていますが喉もと過ぎれば熱さを忘れるということが有

るが、まさに原発の問題が大きく報道されるが、段々、地震のことは薄れてゆくような感じがするのは私一人でしょうか。あの阪神、淡路大地震から16年が経ちました。関係者は忘れることができないうえ、我々一般人にとっては段々記憶が薄れていきます。

町では防災センターを作る計画はないのか、放射能測定器を購入する考えはないのか、防災センターを作るなら今が時期ではないのか、発電機等を配置するその使用範囲を教えて頂きたい。反省やら今後の取り組みについてお伺いします。

**【町長】** 被災地では、全国の支援を受け、行政と地域住民が力を合わせて、再建に向け全力で取り組んでいます。東日本大震災に伴う、町内会長との意見交換会

身近なところで、出来ることから、防災の強化と防災意識の高揚を図っていきます。次に防災センターについてですが、対策本部は現在計画書の中では役場3階が設置場所となっています。計画書の見直しの中で考えて行きます。放射能測定器については、6月に補正予算を計上し発注しましたが、生産が追い付かず、まだ届いていません。現在、月2回、県の測定器を借りて各小学校を測定しています。

一人でも多くの方の防災意識が高まることを念じながら、これからも広報、啓発活動に取り組み災害に強い、安全で安心して暮らせる舟形町を目指していきます。

特に要望の多かった発電機を公民館等の避難場所と学校等の公共施設に設置するための予算を今回計上しました。是非、地域の行事等でも使用していただき、いざという時に役立ててほしいと思います。



奥山 謙三 議員

# 水田畑地化整備事業の負担軽減を 受益者負担の見直しを検討



最上ねぎのほ場

**【質問】** 町では農業所得の増加を進めるために、多くの施策を実施していただきます。畑作振興が拡大しない理由に転作田に作った場合、湿害による減収で当初の所得が得られない場合が多くあり、水田の畑地化工事が必要と考えます。今回のお知らせ版

に掲載されていましたが、その内容は、受益者負担割合25%でした。概算工事金額は10a当たり40万円程度です。対象作物は町戦略品目を対象にして、受益者10%、4万円程度で行えるようにするため、町負担の上積みをお願いします。

**【町長】** 水田畑地化については、10アール当たりの事業費を40万円程度に試算し、補助率を県60%、町15%、受益者25%として事業の要望を行っています。補助率は、町の土地改良事業の補助率を用いています。ご指摘のとおり転作による土地利用型農業には、排水対策、湿地対策が必要不可欠です。是非ともこの取り組みを進めていきたいと考えています。

**【質問】** 男女共同参画社会推進計画に基づき、目標とする登用率を数値で示すとともに、女性の登用を積極的にすすめるべきと考えますが、町長の考えを伺います。また、委員登用の年齢については若返りを勧めるため、就任時の年齢を70歳以下にしたらどうか

を定めている程度の内容になっており、アクションプランの策定をまだしていない状況です。昨年12月に国の基本計画の見直しが行われたため、国との整合性も図られていないことから、数値目標も含めて今後の見直しを進めていきたいと考えています。

なお、受益者負担割合を10%にという提案ですが、今後、事業の取りまとめとともに検討事項としたいと思えます。

**【町長】** 昨年8月、町の男女共同参画社会基本計画を策定しています。町の計画内容については、各種団体への女性委員登用の推進、男女共同参画社会の推進のための啓発や情報の提供、父親の育児参画の促進、農商工における女性企業家の推進及び研修会の実施等

また、委員の登用の年齢制限は設けていません。高齢者といえども、今まで培ってきた経験を發揮する場があっても良いと思っています。



大場 清之 議員

# 庁舎耐震診断の結果と今後の対応は 安全な庁舎管理を目指して



補強の必要性を指摘された役場庁舎

**【質問】** 町長は「昨年庁舎の耐震診断を業者に委託する。3月末頃までに結果が出る。」と言われたが6月議会でこの報告もないうまま9月議会になりました。その結果はどのようでしたか。また、3月11日の東日本大震災から6カ月を経過しましたがあのマグニチュード9.0の地震

が我が町を襲ったらどうなるだろうと思つて背筋が寒くなります。我が町の危機管理状況と今後の対応をどうするのか。

**【町長】** 県内での耐震診断業務の件数が多く、耐震診断判定委員会からの報告が予定していた期日より遅れました。

昭和56年以前に建築された庁舎ですので、耐震基準を満たさないことは当然予測できましたが、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある」と大変厳しい診断結果となりました。補強の必要性を指摘され、最低限の耐震補強工事の必要箇所と

して  
●地下ピロティの基礎支柱の補強  
●1階健康福祉課室の耐震壁の増設  
●1階3階のブレース増設  
●屋上階の「煙突上部」の撤去  
●屋上階の「ベントハウスの撤去」  
などについて指摘されました。

**【町長】** この引き上げの改正は、地方税法施行令の一部を改正する政令が平成23年3月30日に閣議決定されたものであり、町が単独で決めたものではないことをご理解いただきたいと思ひます。

**【質問】** 昨までは保険税の最高額は73万円で今年度は77万円と一挙に4万円も上がり、納税者は戸惑い、困惑をしている状態です。なぜ今まで引き上げをしなくて急に引き上げをしたのかその理由、また、昨年度まで保険税の滞納も現年度分82件795万円、滞納繰越分2756万円と毎年多くな

役場庁舎は、毎日多くの町民の方が訪れる場所でもありますので、一日も早い安全な庁舎管理を目指していきます。



新雪国工コ環境住宅

**【質問】** 東日本大震災から半年を迎えようとしていますが、福島県における原子力発電所事故の収束の目途も立たない状況のなか、放射能汚染による農畜産物への影響が深刻な問題に発展し、さらには電力不足により全国民が節電を意識した生活を

強いられている状況にあります。このような状況のなか、各方面において新エネルギーの活用について取り上げられ研究されており、舟形町独自の工コ対策を検討すべきであると考え、次のことを提案いたします。

①舟形町で実績のある雪冷房システムの保育園、小中学校、福祉施設などへの導入と各家庭への普及推進。②太陽光発電装置の普及拡大に向けた支援制度の創設。③電気の検針票で前年との使用量を比較し、節電の度合いにより、様々な特典を付与する町民参加型の節電対策事業。④LED電球の公共施設への普及推進と各町内の街灯をLED電球へ切替え支援する制度の創設。

①舟形小学校については明年予定の校舎の増築工事に伴い、各施設の冷房装置の導入について既に県と協議が進行しています。ほほえみ保育園には、全室に冷房装置

が取り付けられていますし、「ほなみ」の増床工事も既に発注し、工事に着手している状況です。設計の段階で変更が可能であれば検討してみます。



斎藤 好彦 議員

# 舟形町独自の工コ対策を

## 町民参加型の節電対策を検討

町民参加型の節電対策事業についても、今後の推進に向け大いに参考にしていきたいと思ひます。



佐藤 広幸 議員

# 地域でグループ除雪を実現せよ

## 先進地の事例を検討

**質問** 現在町の高齢化と核家族化が進み高齢者の独り暮らしや高齢者同士の世帯が多くなっています。これは全国的に同じ傾向にあり今後、増えることが予想されます。そこに最近自然の猛威とも言うべき豪雨、豪雪、猛暑が日常化しています。

今年、豪雪対策本部が設置されるほどの大雪で高齢者の負担も多かったです。そこで地域の中の更に小さな単位の地区に少人数のグループを作って頂き除雪機を町が買い与え町道、私道にわたって行政の手の届かない所の除

雪をして頂いてはどうか。実際、新潟県上越市では町内会や5戸以上で除雪を行う団体が新品の小型除雪機購入費の40%以内、80万円を上限として補助を受け市の除雪機が入らない道路や高齢者宅前の除雪を行っています。

でも対応してくれない世帯とのギャップがあり、対応に苦慮しています。長尾町内会では平成20年度から高齢者世帯の除雪ボランティア活動を実施しており、他にも長者原町内会や洲崎消防団でも同様の活動があると同様です。このように

地域で高齢者を見守り、地域の安全を確保するため、自主防災組織等を作り、地域と連携した対応が重要と考えています。ご提案の「地域グループでの除雪体制」についてですが、現在町では生活道路の除雪基準は3戸以上で舗装になっている場所を実施しています。町高齢者世帯の除雪サービス事業要綱の見直しを今後行い、町内会などの団体が高齢者宅を除雪す



ボランティアによる除雪作業

**町長** 町の高齢者世帯の除雪サービス事業は対象が65歳以上の高齢者または心身障がいのある方だけで構成されている世帯でかつ世帯全員が所得税非課税の世帯です。さらに子供や親族からの支援を受けられない世帯に限定しています。他市町村から毎週のようにまめに訪れて両親宅の除雪に励み住宅を守っておられる方と、連絡し

ても対応してくれない世帯とのギャップがあり、対応に苦慮しています。長尾町内会では平成20年度から高齢者世帯の除雪ボランティア活動を実施しており、他にも長者原町内会や洲崎消防団でも同様の活動があると同様です。このように

議員の提案は範囲が広いようで町道、私道問わずの除雪は難しいと思いますが、先進地の事例をもとに勉強してみたいと思います。また、町福祉協議会のスノーバスター事業に、団体等が登録し、高齢者等の住宅周辺や避難口の除雪をボランティアで行う場合は除雪機を無償貸出（燃料・破損修理自己負担）する制度がありま



八鍬 太 議員

# 協働のまちづくりを問う

## 住民参加型のまちづくりを推進

**質問** 第6次の10カ年構想となる総合発展計画の大綱のひとつに「互助・共有・自立による協働のまちづくり」がうたわれています。

とが効率的な事業手法を生み出すと考えます。震災後の防災体制も大幅に見直しが必要だと思えますが、町内この防災体制を整備するには細かな行動計画を必要とします。そのためには地域住民の協力が不可欠であり、きちんと住民の参画を規定した「自治基本条例」などの条例制定も考えるべきです。透明に近い情報開示と

積極的な町民の参画体制の整備を目指すために改めて、町長の言う「町民の目線に立ったまちづくり」について伺います。

**町長** 町では、町民の声を活かした政策推進を図るための「舟形町まちづくり審議会の設置」、住民と行政が協働できる仕組みづくりのための「地域づくり支援事業や地域協働事業の創設」、財政

の健全化に関する法律による「町の財政状況の公表」、全町内会を対象とした「まちづくり意見交換会の実施」などにより、多くの意見や提言をいただき、住民目線に立った行政執行の礎としています。ご提案の「自治基本条例」は、自治体における最高法規、いわゆる「自治体の憲法」とも言われ、自治体の条例や計画等は、原則として自治基本条例の規定に適合するように制定または運用されることとなります。自治基本条例の主な効果として、「住民の自治意識の醸成による行政への参画や行政との協働、自治会やNPOなど住民活動の促進」、「住民参画や住民との協働、住民への説明責任等に関する意識の向上による住民の視点に立ったサービスの一



まちづくり審議会の様子

また、工事の指名審査会の在り方や入札等について大きな問題となっており、第3者機関による立合等の導入を検討し、行政の更なる透明性を高め、町民の信頼に込めていきたいと思えます。



佐藤 勇 議員

# 流雪溝の整備促進を 除排雪の燃料費等の補助を検討



整備された流雪溝 (長沢地区)

**【質問】** 町道の除雪体制は他の町村よりも充実していますが、町の高齢化率が更に進む中で、家庭の除排雪問題が雪国生活最大の課題です。路肩に積み上げる除雪ではなく、消雪、流雪、また、高齢や障害により除雪困難な家庭を町内会で把握し、除排雪計画を

立てていただき、それに対して燃料費等の助成をしていただけないか、考えをお聞きます。

**【町長】** 「流雪溝」も選択肢の一つですが、その他地下水を利用した散水消雪や、無散水消雪、大地熱利用消雪の普及も、雪国生活システムとして整備していく必要がありま

**【質問】** 農業生産基盤の改良整備について、農業者の高齢化が進み、後継者不足の現状から耕作放棄地が毎年増え続けています。未来の子供たちへ大切な農地、山間地域、町土の美しさを引き継ぐために町主導の農業振興を勧めるべきと思われま

**【町長】** 最近の基盤整備では、関田地区、野田経壇原地区、一本杉福地地区が完了し、本年度から福寿野地区がスタート、更に小松地区も平成26年から予定されています。その他にも原田山や福寿野地区での畑地化の実施、三光堰のストックマナーシメント事業、大堰の水利システム保全事業などもすすめており、町単独事業も合わせると毎年のように事業をすすめているところです。

次に農地の多面的機能ですが、水生動物や植物水田や畑地を含む田園風景なども貴重な財産となっていますので農地保全に努めていきます。今後、小水力発電などのエネルギーについても目に見えるような取り組みをしていきたいと思



野尻 益夫 議員

# 若あゆ温泉の施設整備を 課題を整理し今後とも検討



若あゆ温泉

**【質問】** 若あゆ温泉は3月11日の震災、4月7日の余震による温泉南側の法面崩壊などの影響で営業休止を余儀なくされました。福島県等避難者のコテージへの受け入れ、食事提供などの支援にも取り

組まれていますが、長引く景気の低迷などの状況でもあり、次の2点についてお伺いします。  
①災害復旧工事の進捗状況と営業再開以降の経営状況について  
②障害者のみなさんから若あゆ温泉を利用したいと要望があるが、今後家族風呂など施設を整備して、受け入れをする考えはないか。  
以上2点についてお伺いします。

**【町長】** ①について、土砂災害対策事業で行っていた、6月山形県定例議会で予算を確保していただきまし

60人がピークでしたが、現在5棟18名となっております。  
②についてですが、身体に障害のある方が利用する場合は、当然介助者が必要であり、入浴する場合は一般の入浴者もいることから介助者の水着着用が必要なこと、車いすで浴室へ乗り入れるため、ある程度場所が必要なこと、入浴のために安全管理が必要になることなどが挙げられます。また、温泉の方でも直接の要望は聞いていないとのこと

次に家族風呂の設置ですが、公共温泉は健康者の日帰り入浴を目的として整備しているため事例が少なく、近くでは尾花沢市の徳良湖温泉だけと理解しています。仮に、家族風呂を設置する場合、設置場所、湯量の問題、また、整備するための経費などを明確にしなければならぬと思

☆シリーズ

一般質問のゆぐえ

(平成22年9月定例会)

質問

主要地方道新庄次年子村山線の「堀内橋」架け替えについての町の考えは。

答弁

毎年、山形県に舟形町の重点要望事項として「堀内橋」の橋梁整備について要望しています。

県では、橋梁整備箇所と位置付けており、町としても、各関係機関と連携を強め、早期実現に向けて取り組んでいきます。

現状

県では、基本計画に向けて堀内地区の航空写真撮影を実施していますが、橋梁整備の具体的な年次は示されていません。このため、堀内地区692名の署名と要望書を県知事と県議会議長に提出して、早期整備を要望しています。

声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお待ちしております。

私は定年退職して3年目になります。退職後どう過ごすか趣味のない私にとって大きな課題でした。幸い、知人より「アスパラガスの栽培は、収穫時期が長く大変だが面白そうだ」と聞き、全国的にも知名度の高い「最上のアスパラ」を求め、JA新庄もがみ東部営農センターに相談に行き栽培することになりました。農協の皆さん、最上町アスパラガス協議会の斉藤会長をはじめ会員の皆さん、県最上総合支庁農業技術普及課の指導のもと、妻と二人で取り組んでいます。畑作物など作ったことのない私たちでしたが、皆さんに支えられ、2年目の昨年、エコマーマーの認定を受け、市場で販売されるようになったのです。団塊世代の皆さん、定年制のない農業にも一度チャレンジしてみたいかがですか。舟形町の農業振興のため議会のみなさんも頑張ってください。



堀内町内会長 加藤 孝さん (堀内)

総務振興常任委員会 (6月23日)

1 調査した事項

(1) 各課の所管する平成23年度の主な事業や方針

2 調査の経過

課長等の説明を受け、現地を視察終了後、委員会を開催し、調査結果について協議した。

3. 調査の結果(概要及び意見)

特に次の事項について、十分に検討し対応されたい。  
① 舟形2号線より里道に繋がるJR線鉄橋下部の道路について  
西堀からの迂回路があるが、ガードレールもなく危険である。事故防止の面も考慮し、危険性、利用頻度、利便性等を調査し、早急に対処する必要がある。



J R線鉄橋下部の現地調査

舟形町情報公開審査会委員の委嘱に同意



大場美佐子氏 長沢第1 (60歳)



斎藤 淳一氏 舟形第3 (57歳)



早坂みつ子氏 富田第1 (56歳)

任期は平成23年10月1日より平成27年9月30日まで

請願・陳情

9月定例会で審査した請願・陳情は次のとおりです。

●生活道路の町道認定及び路線整備について

継続審査

請願者

木友町内会 会長 佐藤 光晴

●地方財政の充実・強化に関する意見書の提出を求める請願

採択

請願者

連合山形新庄最上地域協議会 議長 和田 泰浩

② 町観光情報館、農林水産加工施設について 緊急雇用等の補助事業で雇用されているが、補助金が打ち切られた時の対応など、継続して事業が推進されるよう取り組みを望む。



県自治会館にて

新議員研修 (8月31日)

山形市 県自治会館で開催されました。講師の全国都道府県議会議長会 元議事調査部長 野村稔氏より「地方議会の制度と運営について」講演があり、詳しく説明を受け研修してきました。これからの議会活動の中で、生かして行きたいと思いました。

●県産牛肉風評被害に関する意見書の提出を求める陳情

採択

請願者 新庄もがみ農業協同組合

代表理事組合長 安 食 賢 一

●環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)参加反対に関する意見書の提出を求める陳情

採択

請願者 農民運動山形県連合会

会長 花鳥賊 義 廣

●免税軽油制度の継続に関する意見書の提出を求める陳情

採択

請願者 農民運動山形県連合会

会長 花鳥賊 義 廣

今期採択の請願・陳情についての意見書を政府、関係機関に提出しました。

9月29日第3回臨時会で審査した請願は次のとおりです。

継続審査となっていた請願

●生活道路の町道認定及び路線整備について

採択

請願者 木友町内会 会長 佐藤 光晴

意見書

日本海国土軸の構築と社会資本整備を求める意見書 議員発議により提出し可決され、政府関係機関に提出しました。



# 新シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。

# えがったなあ



□どんなきっかけで彼（ご主人）と知り合いましたか？  
友人の紹介です。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか？  
地域の方々みんな仲が良く、あたたかく優しい！

□舟形町での生活はどうですか？

最初は戸惑いもありましたが、自然ゆたかで、毎日が新鮮で楽しいです。

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか？

良いところは、地域にまとまりがある。自然が多い。悪いところは、なし！

□舟形町に望むことはありますか？

みんな明るく、楽しく、元気に！  
笑顔あふれる舟形町になって欲しい。

舟形町に嫁いで来たお嫁さん、お婿さん  
今回は、新庄から福寿野に嫁いで来た中島久美（旧姓草刈）さんです。  
皆さんよろしくお願ひします。

## お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)  
舟形町役場議会事務局  
TEL 0233-32-2111(代)

## 編集後記

去る9月30日災害復興ボランティア活動に行って来ました。行った先は牡鹿半島泊地区で大震災と台風15号の被害で想像を超えるものでした。現状はまだまだ復旧の域を脱しておらず、惨憺たる状況です。

復興し以前の生活に戻るまでには、何年かかるのか気の遠くなる感じを受けてきました。その中で全国各地から駆けつけて来るボランティアの数の多さに勇気づけられました。わが舟形町は大きい災害も無く、住み良い所と実感して来ました。

皆さん互いに助け合い明るい町づくり頑張っていきたいと思います。

(奥山 謙三記)

## 議会広報特別委員会

議長	信夫 正雄
委員長	加藤 憲彦
副委員長	奥山 謙三
委員	佐藤 広幸
	斎藤 好彦
	佐藤 勇